

道徳



### どう解く? 答えのない道徳の問題

「どうしてお母さんは、ボクの嫌いな勉強をおしつけてくるんだらう?」「ついていい嘘と、ついちゃいけない嘘でどう違うんだらう?」…。正解があるようなないような問題の答えを見つけるには、どうすればいいのでしょうか?

やまざきひろし/ぶん、きむらよう/え、にさわいらはるひと/え  
ポプラ社 2018

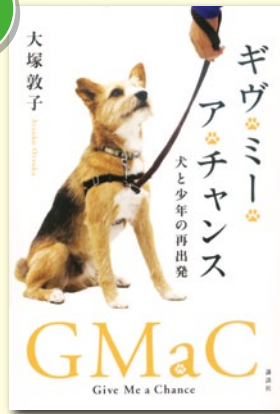
社会



ネズミの塩焼きやおタマジャクシなども…!?旅行ライターと写真家の二人が、モンゴルやネパールなど世界17の地域に「居候」して、その土地ならではの食べ物をこちそうになりました。写真が満載の本です。

中山茂大/文、阪口克/写真  
偕成社 2016

社会



### ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発

少年院では、捨てられたり動物愛護センターに保護されたりした犬たちをかわいがり、よい家庭犬になるよう訓練しています。

訓練をとおして犬と心を通わせることで、少年が変わっていきます。

大塚敦子/著  
講談社 2018

人生



### 学校に行きたくない君へ 大先輩たちが語る生き方のヒント。

「生き続けなきゃもったいない」俳優の樹木希林さんの言葉です。不登校やひきこもりの経験者が「自分が話を聞きたい人」にインタビューをする企画に応えた、20人の有名人からのメッセージです。

全国不登校新聞社/編  
ポプラ社 2018

科学



### 気がつけば 動物学者三代

大人気シリーズ「ざんねんないきもの事典」の監修で有名な今泉忠明さんは、小学生のときに、飼っていたコウモリの餌になるミノムシを毎日40匹も集めたり、ネズミを捕まえて標本にしたりしていました。その後…。

今泉忠明/著  
講談社 2018

## 中学生におすすめ

※2014年以降に出された新しい本からイチオシを紹介します。

# まずは この1冊!



社会



### ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾

長岡省吾さんは地質学者です。被爆直後の広島で、周囲の反対を押し切って、熱線により変形した石や瓦、ガラス等を拾い続けました。これらを科学的に究明し、原爆の恐ろしさを世界に伝えるのは、地質学者である自分の使命だと思ったからです。

佐藤真澄/著  
汐文社 2018

小説



### きみのためには だれも泣かない

中学一年生の鈴理は、天然で、まわりのことが見えないタイプの子。高校一年生の雪のこを「運命の人」だと思い込んで、熱烈な手紙を書きました。ところが、雪には前から好きな人がいて…。

梨屋アリエ/著  
ポプラ社 2016



### ぼくたちのP

おじさんの「別荘」に行くことになった中学生の雄太。一日中ゲームができることを期待していました。

ところが、「別荘」は車を降りてから5時間も山を登ったところにあり、しかも、電気も一切使えないところでした。

にしがきようこ/作  
小学館 2018



### 十三番目の子

ある村では、その家で13番目に産まれた子は、13歳の誕生日に暗黒の神ドンドにいけにえとして捧げなくてはならないという掟がありました。いけにえとなる運命を背負った少女ダラは、13歳の誕生日の前日、驚くべき真実を知ることになるのです。

シヴォーン・ダウド/作、パム・スマイ/絵、池田真紀子/訳  
小学館 2016



### 結び蝶物語

「意味もわからないのに、心がみょうにざわつく。」

あかりには、心を込めてスケッチをすると、その場所に秘められた歴史を知ることができるという、不思議な力がありました…。

横山充男/作、カタヒラシユンシ/絵  
あかね書房 2018